

基調講演

“Situation of Children globally, UNICEF’s work and Career Opportunities”

「世界の子どもたちを取り巻く状況とUNICEFの活動—国際機関で子どもたちのために働くということ—」



ロベルト・ベネス代表
Mr. Roberto Benes

【略歴】

ロベルト・ベネス（イタリア国籍）は、2021年4月よりUNICEF東京事務所代表。UNICEFモンゴル事務所とアルゼンチン事務所の代表を歴任後、UNICEFがリードする若者たちのためのグローバルな官民パートナーシップ「ジェネレーション・アンリミティッド（無限の可能性を秘めた若者たち）」のディレクターを務めた。UNICEFでのキャリアは22年にわたる。2005年に発生したインド大洋津波の際には、バンダ・アチエ（インドネシア）でのUNICEF緊急人道活動に子どもの保護チーフとして参加し、家族の再統合と子どもの心理社会的支援および法的支援のための大規模な支援活動を主導した。国際・外交関係学士、開発協力学修士。コロンビアとペルーの国際NGOで政策アナリストとして勤務した経験や、イタリア沿岸警備隊員として、海洋での捜索及び救助活動を調整した経歴も持つ。

【団体概要】

国連児童基金（UNICEF）は、1946年に、第二次世界大戦で被災した子どもたちに対し、緊急支援を行うために設立された国際機関です。以来UNICEFは、すべての子どもたちの権利が守られる世界を実現するために、世界190以上の国と地域で、保健、栄養、水・衛生、教育、保護、緊急支援、アドボカシー（政策提言）などの活動を実施しています。こうした活動をする上でUNICEFは、1989年の国連総会において採択された「子どもの権利条約」を指針として掲げています。

【国際協力分野をめざすみなさんへのメッセージ】

Your potential to shape a better world is limitless! UNICEF calls upon you to embark on a remarkable journey in international development. Join us in uplifting lives, promoting education, healthcare, and protecting children’s rights worldwide. Your passion, creativity, and dedication will make a transformative impact. Together, let’s make a difference and build a brighter future for every child, everywhere.

（キャリア・ワークショップには、UNICEF東京事務所より本多紗耶香様にもご参加いただきます。）



高梨 寿 様

(前専務理事、元国連UNIDO工業開発官)

【団体概要】

(一社) 海外コンサルタント協会 (ECFA) は、80社の開発コンサルティング企業から成る非営利の公益法人です。その開発コンサルタントは、ODAを通じて途上国の経済や社会の発展を支援し、援助の最前線で、現地の人々とともに問題解決に挑戦する仕事です。インフラ、貧困、教育や保健の課題、ITやエネルギーなど、多岐にわたる領域で取り組んでいます。あなたもキャリアを生かし、世界に羽ばたき、大きな使命感と達成感を得ながら、世界を変えていきませんか？

【国際協力分野をめざすみなさんへのメッセージ】

大学では、グローバルな視野を持ちスキルとなる専門性を深め、外国語の学習と実践、インターンシップやボランティアに挑戦する姿勢が大切です。自らの強みや興味に合わせ、失敗を恐れず積極的に自分自身を磨き、新しい出会いを含め、自分の力で世界に貢献できるよう、大学生活を存分に楽しんでください！



成田 詠子 所長

【団体概要】

国連人口基金 (UNFPA) は、すべての妊娠が望まれ、すべての出産が安全に行われ、全ての若者の可能性が満たされるために活動する国連機関です。UNFPAは、世界の150か国以上で、人口統計データを用いて途上国のニーズを調査・予測し、目標達成のための支援を行いつつ、指導・訓練・サポートを通して現場のパートナーの能力強化を行っています。また、女性と若者のセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康・権利) が開発の重要な位置を占めるように働きかけています。

【国際協力分野をめざすみなさんへのメッセージ】

国連機関で働く上で大切なスキルは、「コミュニケーション」です。コミュニケーションは一方向に行われるものではなく、双方向に行われるものです。つまり、相手を言い負かすことが目的ではなく、お互いにとって利益がある、英語では“win-win”と言う価値観を作り出すことが重要です。そのためには相手の話をよく聞き、断言する力、また妥協する力、そして対話を通じてwin-winな価値観を見出す創造性が必要です。



【団体概要】

世界銀行グループは、途上国政府に対する融資・技術協力・助言、途上国で活動する企業に対する投融資・助言や保証を提供する世界最大級の国際開発金融機関（MDBs）です。ワシントンDCに本部、世界各地の約130か所に事務所を設置し、「極度の貧困の撲滅」「繁栄の共有の促進」という2つの目標に向け活動しています。

大森 功一 様

（世界銀行東京事務所 上級対外関係担当官）

【国際協力分野をめざすみなさんへのメッセージ】

大学では様々な講義を受講するだけでなく、セミナー、スタディツアー、インターンシップ、ボランティア活動など学内外・国内外での活動にどん欲に参加し、本をたくさん読んで、世界との接点をできるだけ増やしてください。そして、ご自身で深堀りしたいテーマが見つかったら、卒業後すぐでなくても、時間がかかって構わないのでぜひ、大学院に進学することを視野に入れてください。



【団体概要】

WFP 国連世界食糧計画は、飢餓のない世界を目指して活動する国連の食料支援機関です。紛争や自然災害等の緊急事態には、いち早く命を救うための食料支援を届け、その後は、食料を通じた生計の立て直しや、災害に強い地域社会の構築に従事しています。また、国連人道支援航空サービス（UNHAS）を運行するなど、国連のロジスティクスのリーダーとして、人道支援物資輸送の指揮を執る役割を担っています。飢餓との闘いに尽力してきたこと、紛争地域で平和に向けた状況改善に貢献し、飢餓が紛争の武器として利用されることを阻止する原動力となったことが評価され、2020年にノーベル平和賞を受賞しました。

下村 理恵 副代表

（政府連携担当官）

【国際協力分野をめざすみなさんへのメッセージ】

国際機関では、通常の仕事に必要な協調性、適応能力、コミュニケーション能力とともに、語学力が必要です。国連WFPは国連機関のなかでも支援を受ける人々との距離が特に近いので、現場においては、体力や精神力の他、柔軟な対応能力や人々が置かれている立場に共感できる、人としての基本的な共感力が重要です。大学では、応用力、問題解決能力、調整力などを高め、また、積極的に物事に取り組むことを普段から行い、正確性とスピードをもって物事に対処することができるようになるよう努力することが、今後、国際協力に携わる際に役立つでしょう。

外務省 国際機関人事センター

ブースNo. ⑥



山口 忠彦 室長

【センター概要】

外務省国際機関人事センターでは、国連・国際機関での採用・昇進を目指している日本人の皆様へ、若手人材が国際機関で勤務する機会を提供するJPO派遣制度を柱として各種支援業務を行っています。

国際機関での働き方やその魅力をお伝えし、国際機関職員の生の声をお届けする各種オンラインセミナー、国際機関の求人情報やセミナーの実施を案内する各種SNSなどを運用していますので、ご利用下さい。

【国際協力分野をめざすみなさんへのメッセージ】

まずは、ご自身が興味のあること・関心のあることに対していろいろチャレンジして、その活動・経験を通じて積極的・主体的に関与する姿勢・能力を身につけていくことをお勧めします。

当センターや各機関が主催する、国際機関職員によるセミナーは、皆さんの関心や疑問に直接答えて頂くチャンスです。是非一度視聴してみてください。

(キャリア・ワークショップには、同センター課長補佐、中野美智子様にもご参加いただきます。)

上智大学国際協力人材育成センター

ブースNo. ⑦



植木 安弘 所長

(大学院グローバル・スタディーズ研究科教授、
元国連事務局広報官)

【センター概要】

上智大学国際協力人材育成センターは、本学が教育精神とする「他者のために、他者ととともに (For Others, With Others)」の志を抱いて国際協力の分野で活躍しうる次世代の人材育成を目的として設立されました。経験豊かな有識者の力を集結し、国際機関や国際協力の分野を志す学生をサポートしています。また、講演会やキャリアセミナー、公開講座を企画、開催し、学生のみならず一般の方々にも情報を提供しています。

【国際協力分野をめざすみなさんへのメッセージ】

国際キャリアを目指す上で一番大事なのが、自分の生き方を決めることです。それは決して簡単なことではありませんが、自分が情熱を感じることを、やってみたいことを見つけ、その中で世界の視野を広げていくことです。当センターは国際公務員養成コースや人道支援講座といった公開講座やキャリアセッションを通じて国際機関へ人材を送ってきています。夢は大きく持ちましょう。